



みどりの里

宇奈月小学校だより
第 12 号
平成 30 年 12 月 21 日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

2学期の成果を土台に、新たな目標を目指す

校長 四杉 昭康

2学期も無事終了することができました。保護者や地域の皆様には、学校に対して様々なご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。第13回運動会をはじめ、数多くの行事や様々な学習で、「オール宇奈月」による充実した2学期、そしてこの一年間であったことを嬉しく思います。子供たちの成長と同様に、教育活動の成果を次の目標への原動力にしていきたいと思ひます。

「自分が成長したと実感できる2学期でしたか？」 ～終業式の話より～

2学期の始業式で、皆さんに伝えたのは、「仲間とともに、自分が成長したと思えるような2学期にしましょう」ということでした。運動会等の大きな行事や地域の学習等、いろいろなことを学んだと思ひますが、大切な仲間と力を合わせ、成長することができましたか。自分が成長できたと実感できると、また次へのやる気が湧いてきます。また、新しいことに挑戦しようという気持ちも強くなります。少しでもよいですから、これからも自分自身を成長させてください。

つい先日、4年2組の第25回の道徳の学習の様子を参観したので、少しばかりお話しします。アルフレッド・ノーベルというダイナマイトを発明した人のお話を先生が読んでおられました。研究中に、事故で大切な弟を亡くしてしまっても、実験を何百回失敗しても、ノーベルは決して研究をあきらめずに、ダイナマイトを完成させました。「ノーベルが頑張り続けることができたのはなぜでしょう」4年2組の子供たちはこの問題を真剣に考えていました。Aさんは「ノーベルはどうしても成功するまでやり遂げたい、最後まで完成させたい」と思っていたと思う。事故でたくさんの人を亡くしていたから、その人たちのことも考えるとどうしても安全なダイナマイトを作りたいという気持ちをもっていただんだと思う」と。また、中には「応援してくれる家族の支えもあったんじゃないかな」と考えた人もいました。すると、先生は「みんなだっけ頑張っているはずですね。みんなはノーベルさんとどこが違うのかな？」と質問されました。すると、Bさんは「頑張ろうという気持ちの強さだと思います」と答えました。また、Cさんは「ノーベルさんには頑張る気持ちがあったけど、僕には頑張る気持ちがあまりないかな」と、自分を正直に振り返っていました。また、「ノーベルさんだっけ途中であきらめてしまおうと思ったはず。でもあきらめなかったところがすごいと思います」と考えた人もいました。先生は「頑張り続けるには、どんなことが大切なのでしょう」と、さらに質問されました。水泳を習っているDさんは「目標に向かおうとする気持ちと頑張る気持ちが必要だと思う。私は水泳でどうしても切りたいタイムがあって、それが今の私の目標です」と答えていました。4年2組の子供たち一人一人が、この日の道徳の学習で「自分も目標をもって頑張ってみよう」と、気持ちを強くしたように感じました。



真剣に取り組む道徳の学習

4年2組の学習の様子を少し紹介しましたが、他の学級や学年の皆さんも、一人一人がこの2学期、そしてこの一年間で大きく成長したことを嬉しく思ひます。いよいよ冬休みを迎えることとなりますが、これまでに自分がどれくらい成長したか確かめてください。そして、それを土台に、新しい年に何を目標として取り組むか考えてほしいと思ひます。

お年寄りへの接し方を考えて・・・6年認知症ジュニアサポーター養成講座

12月17日（月）、市福祉課の方を招いて、6年生を対象に「認知症ジュニアサポーター養成講座」を開催しました。高齢者の人口割合や認知症への理解を深めるとともに、お年寄りとどのように関わっていけばよいか、DVDやグループ協議を通して考えました。「後ろから声をかけない」「できないことだけ手伝う」などの接し方を学びました。受講の証に、一人一人にオレンジリングをいただきました。



黒部市の高齢者の割合は年々・・・



熱心なグループ協議



「どのように接したらよいか」

心も体も音楽の楽しさを味わって・・・全校ダンスタイム

朝活動の時間、ダンスクラブのメンバーと6年生が、各学年フロアに分かれて出向き、全校でダンスを通して楽しい一時を過ごしています。

11月の児童集会で踊ったTWICEの「BDZ」の曲に合わせて、全校児童で踊るダンスタイムは、28・29年度の音楽科の研究指定から続く本校独自の取組になっています。最近では、1年生も息を弾ませ軽快に踊っていて、ずいぶん上手になったと感じます。



「手をこうやって動かして・・・」

一点一画に心を込めて・・・岡田先生の書初め指導始まる

今年も、浦山交流センターの岡田千春さんに書初めの指導をしていただきました。1・2年生は硬筆墨で、3～6年生は太筆で、一画一画を丁寧に書き上げていました。子供たちは、心静かに美しい文字を書くコツを学びました。冬休み中は、校内書初め大会に向けてさらに練習を重ねましょう。



真剣な練習の様子



実際に運筆を見ながら



「美しい文字を書くには」

その他の学校生活から



児童会保健委員会（むし歯ゼロ表彰）



赤い羽根共同募金「37,779円の善意が寄せられました」